

5. 意見等の調査結果

本町の都市づくりに関する現況をより正確に分析し、住民の意見に基づいた都市づくりを進めるため、アンケート調査及び町民ワークショップを実施しました。また、町内立地の企業に向けたアンケート調査を実施し、企業活動の観点からも本町の状況を確認しました。

(1) 調査概要

町民アンケート調査	
実施時期：令和5年12月15日～令和6年1月15日	
実施方法：郵送調査	
対象者：令和5年11月15日時点で18歳以上の町内在住者3,000人	
回収数：1,208票（紙回答902通、WEB回答306通）	
回収率：約40.3%	
企業アンケート調査	
実施時期：令和6年3月15日～令和6年4月15日	
実施方法：WEB調査（32社）、対面調査（4社）	
対象：町内立地の民間事業者170社	
回収数：32社	
回収率：約18.8%	
町民ワークショップ	
第1回	実施時期：令和5年10月1日（日）午前10時～12時 実施会場：Café こころく 参加者：7名（精北小学校区3名、川西小学校区2名、精華台小学校区1名、東光小学校区1名）
第2回	令和5年10月29日（日）午前10時～12時 実施会場：Café こころく 参加者：7名（精北小学校区1名、川西小学校区2名、山田荘小学校区2名、その他2名）

(2) 主な調査結果

1) 町民アンケート調査

① 各施設の利用頻度とその主な所在地、そこに行く際の主な移動手段

- ・食料品・日用品店舗(スーパー等)の利用先は「けいはんなプラザ周辺(ビエラタウン・アピタタウン)」、「祝園駅・新祝園駅周辺」が多い。
- ・自家用車への依存度が高い。

② 住みやすさ

- ・「住みやすい」、「どちらかと言えば住みやすい」の回答を合わせると8割を超える。
- ・良い点としては「日常の買い物等が便利」、「街並みや景観が良い」、「町外への公共交通アクセスが良い」、「治安が良い」の割合が高い。
- ・悪い点としては「医療・福祉施設が不足している」、「町外への公共交通アクセスが悪い」の割合が高い。

③ 定住意向

- ・「住みたい」、「どちらかと言えば住みたい」の回答を合わせると7割を超える。
- ・良い点としては「日常の買い物等が便利」、「なじみや愛着がある」、「街並みや景観が良い」の割合が高い。
- ・悪い点としては「医療・福祉施設が不足している」、「町外への公共交通アクセスが悪い」の割合が高い。

④ 現在の精華町のまちづくりの満足度・重要度

- ・満足度は「けいはんなプラザ周辺の研究施設区域における景観形成」、「上水道・下水道の整備状況」が高い。
- ・満足度は「下狛駅、狛田駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」、「空き家住宅の活用」が低い。
- ・重要度は「地域の治安」、「医療・福祉施設の立地状況」が高い。
- ・重要度は「山田川駅周辺の商店等の立地や賑わいづくり」、「山田川駅周辺の整備(駅前広場等)状況」が低い。

⑤ 今後目指すべきまちづくり

- ・「祝園(新祝園)駅周辺への店舗・商業施設の誘致による中心地の活性化」、「京阪奈新線延伸の早期実現」、「新たな企業用地の確保による働く場所と企業税収の確保」、「自家用車から公共交通にシフトしたまちづくり」の順に回答割合が高くなっている。

2) 企業アンケート調査

① 新たな土地利用の可能性に関する企業意見

ア) 学研狛田東地区周辺

- ・ 産業系の需要は一定見込める。

イ) 学研精華・西木津地区周辺

- ・ 特別用途地区（研究開発地区）内での土地利用は難しい。

ウ) 祝園駅西地区周辺

- ・ 現時点では再開発が可能かを判断することはできない。
- ・ 京都市内及び大阪市内へのアクセス時間の短縮が必要である。

エ) 菅井・植田地区周辺

- ・ 近隣の立地状況を踏まえると商業系は難しい。
- ・ 自由度の高い土地利用規制が望ましい。

オ) 学研狛田西地区および下狛 IC 北東地区周辺

- ・ 産業系の土地利用は検討できる可能性がある。ただし、物流系に関しては、主要都市へのアクセス性の観点から、より名神（新名神）高速道路の I.C. に近い場所の方が土地利用の需要が高い可能性がある。

カ) 山手幹線沿道地区周辺

- ・ 一定の商業系及び住宅系の需要はある。ただし、土地利用規制の変更を行う必要がある。

キ) 精華西部地区周辺

- ・ 現時点では新たな土地利用の可能性は低い。

ク) 柘榴南地区周辺

- ・ 沿道商業としての土地利用は検討できる可能性がある。ただし、事業化までの土地利用規制等の制約が高い。

② 本町で事業を行う際の長所（メリット）

- ・ 一定の人口規模がある。
- ・ 研究施設及び物流施設の一定需要がある。

③ 本町で事業を行う際の短所（デメリット）

- ・ 住宅需要が飽和している可能性がある。
- ・ 現時点で近隣市に物流拠点がある。
- ・ 商圈需要が飽和している可能性がある。
- ・ 大都市への公共交通網が脆弱である。

3) 町民ワークショップで出された意見

① 良いところ

- 歩道の幅員が十分に確保されている道路が多く、交通渋滞が発生している箇所が少ない。
- 大型商業施設が立地しているため、生活しやすい環境が整っている。
- 治安が良い印象があるため、子育てのしやすい環境である。
- 精華台等の団地は、良好な住宅団地を形成している。
- 町内にはバス網が充実しており、バスの利便性は高い。
- 新祝園駅に急行電車が停車するため、京都への移動がスムーズ。
- イベントが多く、様々な人と触れ合える環境が整っている。

② 惜しいところ

- 車を所有していないと不便な環境である。
- 踏切での交通渋滞が発生している。
- 公園の立地数を増やしてほしい。
- けいはんな記念公園の駐車場料金の設定金額を見直してほしい。
- 駅前の活性化を図ってほしい。
- 駅周辺に新たな住宅整備を進めてほしい。
- 人が集まれる施設を誘致してほしい。
- 電車やバスの運行本数増便、発着時刻の見直しを検討してほしい。
- 民間事業者同士が連携できる施策を行う必要がある。
- 自治会と子供会の連携を強化してほしい。
- 田んぼや畑を適切に維持・管理・保全していく施策の検討が必要。
- 街灯が少ない、歩道の幅員が狭い箇所などがあり、通学ルートの改善をしてほしい。
- 保育料の無償化を進めてほしい。